

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で、ゆったりと、自分らしく生活して頂けるよう、開設時に職員と理念を作り上げた。理念と3つのキーワードを共有できている。	地域密着型サービスの意義や役割の内容を十分理解した上で事業所の理念をつくりました。毎月の会議ではケア提供時に理念が反映されているか確認しています。また、一人ひとりの関わり方の見直しや対応で迷うケースなどを皆で話し合い、具体的なケアについて意見をまとめ、日々のケアにつなげています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の方を巻き込みながら焼き芋大会を開催したり、地区のお祭りに参加し交流を持っている。	地域の行事には積極的に参加し、保育園や児童館で子供達と交流し、住民からは沢山の野菜のおすそ分けをいただき、事業所は行事で作った焼き芋やお餅をお礼に配るなど地域と馴染みの関係が築かれています。併設のデイサービスのご利用者とは親しい関係にあり一緒にドライブに出かけたり合同で行事も行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	桜木町の回覧板に介護に関する知識を載せたり、町内の方を対象に認知症サポーター養成講座を開催している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者家族、当該地域の民生委員、区長、市の職員の意見を聞き入れ、サービスの展開に活かしたり協力を得ながら新しい取り組みにも繋がっている。	2ヵ月毎定期的に開催しています。毎回事業所からの現状や取り組みの報告、地域からは行事などの紹介また、行政からは諸事の連絡、ご家族等からは要望など有意義な話し合いと情報交換が行われています。会議録は玄関に掲示しています。また、市のインターネット上でも公開されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と協力関係が築けている。	キャラバンメイトの職員が地域向けに認知症養成講座を開くにあたり包括の職員は基本テキストの準備などで協力しています。管理者は介護認定審査委員でありしばしば市の担当者と顔を合わす機会があり相談や報告をしています。また、市からは必要な情報はメールで届けられるなど相互に連携を図っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員設置あり。一昨年に身体拘束に関する事例が発生した為、再度職員会議の中で理解を深め正しく理解する様、話し合った。また虐待に関連付け職場内で学習した。	身体拘束を行わないために管理者を委員長とする身体拘束廃止委員会が設置されています。「緊急やむをえない場合」においての拘束に関しては事業所独自に6項目を設け、安易に拘束が行われないよう（解除を含む）定めています。職員は身体拘束その他入居者の行動を制限する行為の内容とその弊害を理解しています。	
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員は高齢者虐待帽子関連法についての研修会に参加し知識を深め職場内での学習会も行い防止に努めている。、	高齢者虐待防止関連法を学んだ管理者が職員会議で伝達研修を行い、身体的及び心理的虐待の理解と防止の周知徹底を図っています。現場で不適切なケアが行なわれていないか話し合い、絶対にしないと虐待防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、職員は権利擁護に関する制度の研修に参加し、報告と学習会を職場内で行った。グループホームで必要としている事例はないが、以前家族から質問された事があり必要な助言ができた。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明をし、質問や疑問などをその場で解決し納得して頂けるように対応している。解約後も面会に出掛けたり、必要時電話連絡している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設に意見箱を設置しているが、家族から直接意見を言って頂ける関係ができています。また、家族同士で意見交換したり、運営推進会議の中でも意見が交わされている。	家族会を年2回（8月、12月）設けられており殆んどのご家族が参加し、ご家族間の交流が主に行なわれています。面会時や電話又運営推進会議等から出された意見、要望は職員会議等で話し合い、運営に反映させています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回チーム会議で意見や提案を交換する機会がある。それ以外にも日々のミーティングの中で意見が交わされている。	事故、苦情を含む拘束、防災、学習、レク、安全衛生の各委員会があり委員会で話し合った計画や要望等を職員会議で報告しています。管理者は申し送り後のミーティングではケアの確認や意見も聞く機会を設けています。また、日常的にも職員に声を掛けながら気付きや意見等を聞き、それらを運営に活かしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自の状況を把握するように努め、声を掛け合い互いに目的を持って向上心を持てるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の目標や力量を把握し、研修参加する機会を作っている。日々の業務の中では個々の目標達成に向けて助言や指導をするように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームや施設に出掛け交流を持ち管理者と意見交換する関係もある。実践者研修の実習受け入れもある。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまでに何度か自宅を訪問し、本人や家族から話を聴き、受け止め生活状況や生活習慣、地域での生活状況も把握する様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人と同様に家族からの話も聴き入れ、受け止めるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時に必要としている支援の見極めは重視している。優先すべきサービスが考えられる場合は検討しサービスが受けられる様に対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人を生活のパートナーとして過ごし、畑仕事や調理作業、裁縫など様々な場面で職員が学ばせて頂いている。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族、本人の立場に立ち共に支え合える関係作りに努めている。	毎月の「ゆうなぎ広報」で暮らしぶりや行事予定、お知らせの他に通信欄には一人ひとりの生活の様子や健康状態などを記入しご家族に報告しています。年2回の家族会や行事への参加を促し本人との関わる時間を設けています。職員らは入居者のことを面会時や便りで沢山の情報を伝えることでご家族と一緒に本人を支える協力関係を築いています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、本人の了解を得て、本人が地域の中で活躍してきた場所に外出したり、通い慣れている床屋にお連れしたり、また自宅周辺に行ったり関係持続の支援を行っている。	入居者と関係があるデイサービスに通うご利用者との交流も続いています。皆が知っている弁天岩や神社、公園に出かけたり時には漬物石探しに出かけた事もあります。入居者を違う目線で見ためてために受持ち担当を変更していますが必ずご家族にその旨を伝えるています。「この職員は知っているから誰でも構わない」と了解の返事をいただいています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者個々の性格、習慣となっている事を把握し、入居者同士で支え合い良い関係作りが出来る様にしている。リビングでの席や、作業する際にさりげなく援助している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約、利用が終了した家族から近況の報告を頂いたり、立ち寄って頂いたり、こちらからも必要時相談にのって経過を見守っている。		

自己 自己	外部 外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向を日々の会話の中からも聴き取り意向の把握に努めている。困難な方はご家族の意向もふまえ本人本意に添える様にしている。	入居者がその人らしい暮らしの支援するために職員は一人ひとりの思いや意向の把握に努めています。把握が難しい入居者には日々の様子や情報をもとに本人本位に検討したり、入居者の言動の原因を理解するのに24時間生活変化シートも活用しています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴についてご家族や関係者から情報収集している。把握した情報を共有し、生活に活かすよう努めている。センター方式の用紙を用いた情報収集も行っている。	センター方式のシートを用いて情報収集が行なわれています。入居者の生活歴や生活環境、暮らし方などから一人ひとりの生活スタイルや本人の全体像の把握に努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの現状把握をしている。介護計画書に添った日々の記録の他にミーティングの中で情報を共有し気づきも検討している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族のニーズや生活課題を把握し、それに則した計画書になるよう親戚や兄弟、地域の方の意見も反映し話し合いをもち検討している。	ご本人、ご家族の意向等をもとに課題、援助目標、具体的な支援内容を盛り込んだ個別の介護計画が作成されています。作成担当者は職員らと毎月、評価を行いまた、経過を見ながらのモニタリングを行っています。体調の変化などで介護計画が遂行できない場合はモニタリングに基づいた介護計画の見直しが行なわれ、現状に沿ったものに作り変えています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画書に添った日々の記録が個々に行われており、4日おきにサービス内容の実践評価も行う形にしている。評価に基づき職員間で見直ししながら情報の共有ができている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に対応して柔軟な支援が行えるように努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族や本人からの情報も含め地域資源を把握するよう努め、協働できるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にかかりつけ医の希望を伺い希望通りにされている。かかりつけ医の移行を求められた家族からの相談も受け止め納得のいくかかりつけ医を選ばれた。受診にはご家族、職員と交互にお連れしている。	協力医の往診が定期的にあります。また、ご本人やご家族が希望する医療機関で診療も受けられます。医療機関との連絡はご家族が口頭で伝えることもあります。受診結果は必ずご家族に報告しています。緊急時には協力医及びかかりつけ医との連絡マニュアルに沿って適切な医療が受けられるよう構築されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同事業所内の常勤看護師への連絡体制があり、日常の健康管理の指示をもらい管理している。かかりつけ医と看護師との関係も良好で、助言等頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	同事業所内の看護師、職員、ご家族が相談しやすい関係にある。病院関係者と情報交換をしながら医療活用の支援をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前や契約時にご家族、本人に重度化した場合や終末期についての確認と説明をしていると共に、事業所として対応できる、できない事を見極め方針を決め共有している。医師、家族、本人との話し合いもする。	重度化や終末期に向けた事業所の方針は契約時にご本人、ご家族等に説明し納得いただいています。状態悪化の兆しや変化が生じたときには医師やご家族等と相談や話し合いを行ないながら事業所は出来る限りの支援を行っています。全員の方が特養への申請手続きをしています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所全体の中で学習会を行い緊急時の対応や初期対応について学習している。	救命救急の講習を毎年、全職員が受けています。また誤嚥や骨折、意識レベル低下などの対応に関しても併設の看護師から知識や対応法を学んでいます。救急対応マニュアルも作成されています。いざという時に落ち着いて対応や処置が出来るよう事業所全体で取り組んでいます。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災委員が主体となり、事業所全体で定期的に避難訓練が行われている。グループホーム独自でも夜間帯を想定しての訓練や、増築に伴い避難経路の確認も行っている。	消防署の協力を得ながら毎年併設のデイサービスと合同の防災訓練が行なわれています。職員の誘導を受けながら入居者は建物の外へ避難しています。同時に消火器の取り扱い、通報訓練なども行なわれています。災害対策マニュアルも作成されています。また、防火管理者を中心に防災委員会が設立されており定期的に防災設備の点検や夜間想定避難訓練を行い、入居者の安全、安心な暮らしの確保に取り組んでいます。スプリンクラーは今年設置されました。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格や性質、過去の経験等を尊重し、日々の関わりの中でも個人の情報の取り扱いにプライバシーを損ねる事のないよう対応している。	一人ひとりの人格の尊重、誇りやプライバシーを損ねない声がけに日々、取り組んでいます。援助が必要な時にはさりげない対応や声掛けが行われています。馴れ合い等から好ましくない言動が合った場合には職員間で声を掛けたり話し合うようにしています。個人情報取り扱いや守秘義務について職員は十分認識しており周知徹底されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日課の流れだけに捕らわれず、個々に合った声掛けや関わりを持ち自己決定に時間がかかっても見守り表現できるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日、その時の希望に添えるように会話や関わりをゆったりと持ち、個々のペースを大切に自分らしい生活となるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意見を尊重し、好みや生活習慣に合った個々のおしゃれを楽しんで頂けるよう援助している。身だしなみは入浴後、起床後、午睡後、外出前など必要に応じ援助している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の得意とされている事や好みを把握し、力を発揮できる環境作りをしている。煮物作りや漬け物作り等、得意な事を主体的に行っている。食事準備、食事、後片付けまで全て職員と一緒にしている。	職員は入居の一人ひとりの力量や不得意、持久力を把握しておりその人にあった作業をお願いしながら一緒に食事の準備を行い、同じテーブルを囲み、同じ物をいただいています。畑で収穫した物や旬の野菜を使った季節料理、昔からある家庭料理、入居者の好物などがメニューに並びます。一ヶ月毎の献立表を外部の栄養士に見て貰いアドバイスを受けています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の持病の把握と体調等の情報を職員間で共有している。食事量や水分摂取状態を観察している。習慣に応じ偏りの無いバランスのとれた食生活となる様声掛けや促しをしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔ケアを行っている。個々の力や判断力に応じた援助がされている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンや生活習慣、本人の力を把握しプライバシーにも配慮しながらトイレ誘導を行っている。夜間の排泄状況も観察しながら必要時トイレ誘導の介助を行っている。	入居者一人ひとりの排泄パターンや仕草を見ながら職員はさりげなく声をかけトイレでの排泄支援を行なわれています。トイレ以外での排泄行為が繰り返された時、その入居者の生活環境などからご本人の思いに沿った方法を見出しています。オムツの使用はなく全員がリハパンまたは布パンツで快適に過ごしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の状態や内服薬を把握し、便秘予防に努めている。状態によっては看護師、かかりつけ医にも相談している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の生活習慣や希望を把握し、入浴日や一緒に入りたい方がいれば同じ時間になるようにしている。	併設のデイサービスの大きなお風呂に入ることが楽しみの一つであり毎回、そこでの入浴となっています。入浴中に歌が聞こえてきたり、おしゃべりしながら楽しそうに入浴されています。手術痕を見られたくないと入浴を避ける入居者がいますが職員の配慮で入浴は出来ています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡の時間に休む習慣のある方、無い方等それぞれの習慣に合わせた対応をしている。入眠時間も個々に合わせている。安心して休息や睡眠がとれる様に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬一覧表あり。作用、用量、用法、副作用についても職員全員が把握と理解するようにしている。内服薬に変更があった場合はご家族に連絡すると共に必要に応じ症状の変化を記録し、かかりつけ医と情報交換している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが張り合いを持って生活できる様、個々の力や意欲に応じて役割を取り入れている。楽しみ事や気分転換では、個別に買い物やお参りに出掛けたり、定期的に図書館で本を貸りたりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に添って外出を取り入れており、通い慣れた散髪店、実家のあった地域、図書館、馴染みの商店街などに外出する支援をしている。地域の方からお祭りや行事参加のお誘いも頂き、外出している。	天気の良い日には事業所の周辺を散歩しています。個別の外出支援もご家族と協力しながら行なわれています。出来るだけ外出の機会を設け気分転換に努めています。デイサービスのドライブと一緒に参加したり、花見や公園へお弁当持参で出かけるなど、山河に海のある自然豊かな環境で事業所ならではの外出支援が行われています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出掛けた時やお参りに出掛けた時は、個々の力や希望に応じて財布を持ち、買い物等を気兼ねなく楽しんで頂けるよう援助している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも出来るようにリビングに設置してある。個々の力によってだが、事務所の電話を使い操作の援助もしている。手紙を出したいと希望があった際は職員と近くのポストまで投函に行く。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った飾りや花を飾ったり、入居者自身が作ったパッチワークやつるし柿の作品を飾ってある。入居者同士で気軽に会話したり一休みしたり出来る様、廊下にベンチやソファを置いている。自由にお茶が飲めるよう常にお茶をポットに入れてある。	ホーム入口には手作りの吊るし雛ならぬ柿が並んでかけてあり、ドアを開けると窓や天窓からの明かりと職員と一緒に入居者が笑顔で迎えてくれます。いらっしゃい、こんにちはの声に気持ちが和みます。食堂と対面式のキッチン、奥の和室にはコタツもあります。居室に戻られても皆がいるこの広間に戻ってきてしまう位日中は皆がここに集まって過ごしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士で居室の行き来があったり、炬燵に入ったり、廊下にあるベンチやソファで寛いだりと思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の希望やご家族の思いを聴き入れ、馴染みの家具、装飾品、テレビや家族の写真、遺影など持ち込んで頂き、配置は本人の状態に合わせ障害にならないよう配慮している。	娘さんがご家族を忘れないようにとご家族の写真をいっぱい入れた大きな額の前にご主人の写真。ベッドの布団の中にはネコのぬいぐるみが顔をだしている微笑ましい居室、ベランダでシイタケを育てていたり、大きく書いた日課表が張られた居室などご本人の思いや習慣に沿った個別の居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関、ベランダ出口には施錠せず開放している。危険のないよう、個々の能力に合わせて見守り安全に配慮している。居室の施錠、冷暖房はできる方には説明し行って頂き、自立した生活となるよう声掛けしている。		